

**製品名: COLQ ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab09221**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:200,ICC/IF 1:50-1:200
分子量	50kDa

**抗原情報**

遺伝子名	COLQ
別名	Acetylcholinesterase collagenic tail peptide (AChE Q subunit;Acetylcholinesterase-associated collagen)
遺伝子 ID	8292.0
SwissProt ID	Q9Y215
免疫原	ヒト COLQ 由来の合成ペプチド

**背景**

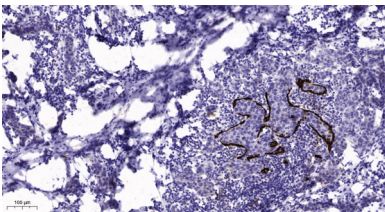
この遺伝子は、骨格筋のアセチルコリンエステラーゼに関連するコラーゲン様分子のサブユニットをコードします。各分子は 3 つの

同一のサブユニットで構成されています。各サブユニットには、アセチルコリンエステラーゼ四量体に結合して酵素の触媒サブユニットを基底膜に固定するプロリンリッチ接着ドメイン (PRAD) が含まれています。この遺伝子の変異は、終板アセチルコリンエステラーゼ欠損症と関連しています。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが見つかっています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]、疾患: COLQ の欠陥は、エンゲル型先天性筋無力症候群 (CMSE) [MIM:603034] の原因です。CMSE は、終板アセチルコリンエステラーゼ欠損症または IC 型先天性筋無力症候群 (CMS-IC) としても知られています。CMSE は、小児期の発症、全身性の衰弱、労作時の異常な疲労性、アセチルコリンエステラーゼ薬への反応性、筋電図反応の減少、および神経筋接合部の形態異常を特徴とする、まれな常染色体劣性先天性筋無力症候群です。ドメイン:プロリンリッチ付着ドメイン (PRAD) は、AChE 触媒サブユニットに結合します。機能:非対称 AChE の触媒サブユニットをシナプス基底膜に固定します。PTM:三重らせん尾部は、各末端のジスルフィド結合によって安定化されます。類似性:COLQ ファミリーに属します。類似性:2 つのコラーゲン様ドメインが含まれます。サブユニット:ホモ三量体。AChE の非対称型の構成成分であり、コラーゲンサブユニット (Q) と不定数の非対称触媒サブユニット (T) からなるジスルフィド結合オリゴマーである。コラーゲンサブユニット (Q) の N 末端は触媒サブユニット (T) の C 末端と結合する。組織特異性: 骨格筋の終板に存在。

## 研究分野

-

## 画像データ



パラフィン包埋ヒト乳癌の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:200 に希釈した (4°で一晩)。2、抗原賦活化には Tris-EDTA、pH9.0 を使用した。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、45 分)。